

## 新会長に渋谷明彦氏を選任

全日本一般缶工業団体連合会は6月14日、京都「菊水」で第35回定時総会を開催した。出席者は10名。山田秀雄西日本一般缶工業協同組合事務局長の司会で進行し、渋谷明彦副会長が開会の辞を述べたあと、定村光会長は「2年前、会長に就任したとき2つの約束をした。1つ目はPR事業の推進。「東京パック」への出展や「一般缶商品購入キャンペーン」の実施などPR事業に傾注してきた。2つ目は連合会の財政再建。平成24年度決算では期間利益を出すまでになり、今年度にも赤字が解消される見込み。一応この2つの約束は果たせた。今後、一般缶業界をさらに発展させていく施策が必要になるのでご協力をお願いしたい」と挨拶。次いで定村会長が議長となり①平成24年度事業報告書及び決算関係書類承認の件②平成25年度事業計画及び収支予算決定の件③会則全文変更の件④賛助会員規約制定の件⑤役員改選の件⑥担当委員選任の件⑦相談役委嘱の件⑧全日本一般缶PR活動推進協議会の件⑨各組合報告事項の件が上程され、提出議案はいずれも原案通り可決承認された。

役員改選後に行われた新理事による理事会で会長、副会長が選任された。また、久

一般缶連合会 第35回定時総会を開催

創立35年の節目  
需要喚起 柱に新たな活動展開目指す

保田榮一、中川賢一両元会長を相談役に委嘱した。最後に西日本、東日本の各理事長から近況報告を受けたのち、広浜泰久理事の閉会の辞で終了した。新役員は次の通り。

会長

渋谷明彦（西日本組合理事長）

副会長

定村 光（東日本組合理事長）

池田祥三（中部組合理事長）

理事

広浜泰久（東日本組合理事長）

志賀正人（東日本組合理事長）

水戸部武寿（東日本組合理事）

杉浦由記夫（東日本組合理事）

鳥居 廣（東日本組合理事）

加島 裕（東日本組合理事）

竹内雅夫（東日本組合理事）

辻 亘彦（西日本組合理事長）

中田成一（西日本組合理事長）

清水浩一（西日本組合理事）

石川博章（中部組合 副理事長）

監事

最上裕光（東日本組合理事）

小西克彦（西日本組合理事）

田中耕太郎（中部組合監事）

## ◆平成25年度事業方針◆

今年本連合会が昭和53年6月2日に創立して以来、満35周年の節目。会則を全面的に見直し、賛助会員規約を制定し、組織基盤の強化を図り、一般缶の需要喚起活動を最重点に諸事業を展開します。

第1に、需要縮小に歯止めをかけるため、まずは業界の内部から需要を喚起しようと昨年末から始めた「一般缶商品購入キャンペーン」を継続実施します。その更なる推進策として、「オリジナル缶商品」を企画製作し、業界関係者にその積極的な活用を促します。これにより需要縮小著しい食品向けを中心とする一般缶の需要喚起の大きな波をつくり、業界活性化を図っていきます。

第2に、業界初の一般缶ポスターを製作し、「より良い製品、造る喜び、届ける誇り」を業界内外に伝え、一般缶PR事業を側面から支えます。

第3に、ホームページ上のニュースページを自動更新システムに改訂します。これにより、閲覧者がニュース内容を一目で把握できるようになり、利便性が向上します。

このほか「優CANレポート」の発行や「エコプロダクツ2013」への出展を始め、調査研究、教育情報、福利厚生などの各事業を着実に実施していきます。



総会風景

## 得意技術を生かした モノ造りのロマンを追い続けよう

暑中お見舞い申し上げます。

この度、平成25年6月の全日本一般缶工業団体連合会第35回定時総会におきまして第19代会長を仰せつかりました。

一般缶業界は長引く消費低迷により、生産、売上げとも年々著しく減少し大変厳しい状況が続いております。

一般缶は内容物の遮光性、長期保存性、省エネルギーや美的感覚と機能性などの優位性があります。以前と比べて缶の親しみやすさが薄れ、他素材に替わられた部分もあります。需要家や消費者のニーズを的確に捉えて一般缶の得意技術を生かしたモノ造りをしていかなければなりません。これからも「より良い製品」「造る喜び」「届ける誇り」でモノ造りのロマンを追い続け、「一般缶の広がり」に結びつけていきたいと思っております。



連合会と致しましては、今後、所属員各社の経営革新に貢献できるよう、一般缶のPRなど需要喚起活動を始め、所属員企業間の連携・協業化の検討、ゲーディングの推進、技術・技能継承、産学協同の取り組み等の事業を展開してまいります。

これからも一層のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

## 会員組合通常総会報告

### ■東日本一般缶工業協同組合

理事長に定村光氏（再任）

副理事長 広浜泰久氏（再任）

副理事長 志賀正人氏（再任）

常任理事 鳥居 廣氏（新任）

常任理事 最上裕光氏（新任）

常任理事 山本泰則氏（新任）

東日本一般缶工業協同組合は5月17日、鉄二健保会館で第35回通常総会を開催した。

出席者は書面を含め40名。古茂田隆文理事の司会で進行し、広浜泰久副理事長が開会を宣し、定村光理事長が挨拶したのち議長となり①平成24年度事業報告書及び決算関係書類承認の件②平成25年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件③借入金残高の最高限度決定の件④定款全文変更の件⑤定款変更認可申請における字句の一部修正委任の件⑥専門委員会規約、部会規約及び賛助会員規約制定の件⑦理事及び監事選挙の件が上程され、①～⑥議案はいずれも原案通り可決承認された。

理事及び監事の選挙は選考委員による指名推選で行われ、新理事による理事会で役員及び専門委員会委員長が選任された。また、中川賢一前理事を相談役に委嘱した。志賀正人副理事長の閉会の辞で終了した。新役員は次の通り。

### 副理事長

広浜泰久（㈱ヒロハマ）PR委員長

志賀正人（エヌエス金属工業㈱）

活路開拓委員長

### 常任理事

鳥居 廣（㈲鳥居製缶）総務委員長

最上裕光（最上CAN㈱）流通委員長

山本泰則（㈱東都製缶）教育技術委員長

### 理事

加島 裕（江戸川製罐㈱）運営委員長

竹内雅夫（金方堂松本工業㈱）

運営委員長

古茂田隆文（古茂田製罐㈱）

神宮善太郎（㈱神宮製作所）運営委員長

杉浦由記夫（杉浦製罐㈱）

高田勝雄（㈲高田王冠製作所）

運営委員長

澤田武史（東邦金属工業㈱）

小黒保満（日進製缶㈱）運営委員長

水戸部武寿（水戸部製缶㈱）

小林達生（明祐工業㈱）

### 監事

久保田裕美（㈱久保田製罐）

関根浩二（㈲須貝金属工業所）

### ■西日本一般缶工業協同組合

理事長に渋谷明彦氏（再任）

副理事長 辻 亘彦氏（再任）

副理事長 中田成一氏（再任）

定村 光（寺島製缶工業㈱）

西日本一般缶工業協同組合は5月27日、大阪市北区のANACPホテルで第45回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め24名。開会宣言のあと、洪谷明彦理事長が挨拶したのち議長となり①平成24年度事業並びに決算報告書の承認の件②平成25年度予算案並びに事業計画承認の件③定款変更の件④役員改選の件が上程され、①②③議案はいずれも原案通り可決承認された。

役員改選は、連記式無記名投票で行われ、新理事による理事会で役付理事が選任された。辻副理事長の閉会の辞で終了した。新役員は次の通り

#### 理事長

洪谷明彦（明和金属工業株）

#### 副理事長

辻 巨彦（三国金属工業株）

中田成一（平和製罐株）

#### 理事

小西克彦（生野金属株）

清水浩一（大阪製罐株）

岩橋久直（株）ライトハウス金属工場

下宮義弘（下宮金属工業株）

渡邊静雄（江戸川製罐工業株）

馬場康之（善友金属株）

#### 監事

中山裕文（中山製缶株）

山本浩之（山雄製缶工業株）

#### ■中部製罐工業協同組合

理事長に池田祥三氏（再任）

副理事長 石川博章氏（再任）

中部製罐工業協同組合は5月23日、名古屋市の名古屋国鉄会館で第63回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め8名。事務局が開会を宣し、池田祥三理事長が挨拶したのち議長となり①平成24年度事業報告、収支決算報告及び剰余金処分案の件②新役員選任の件③平成25年度事業計画案及び収支予算案の承認に関する件が上程され、①及び③議案はいずれも原案通り可決承認された。

新役員選任は選考委員による指名推選の方法で行われ、新理事による理事会で役付理事が選任された。石川博章副理事長の閉会の辞で終了した。新役員は次の通り。

#### 理事長

池田祥三（興和製缶株）

#### 副理事長

石川博章（側島製罐株）

#### 理事

安藤宏行（日東製罐販売株）

近藤正臣（ライトハウス名古屋金属工場）

中川 泰（センタープレス株）

山梨 勝（静岡製罐有）

#### 監事

田中耕太郎（株）銅辰製作所



## 東日本一般缶工業協同組合 分科会レポート 「初めてのプレス金型設計」を受講して

平成25年2月19日、すみだ中小企業センターで行われた「分科会技術講習会」に参加してきました。当日は14社32名の参加があり、講習会場は一杯でした。

プレスの基礎について講義形式で、プレス加工や金型の種類、設計時の注意点といった内容を学びました。

プレス加工には分離、成形、接合加工の3つがあり、各々に更にとくさんの加工方法があることを知り驚きました。

金型には単能、複合、順送型の3種類があり、絞り工程の設計にはプランク寸法や絞り回数、絞り高さを計算式で求める、という手順があることを知りました。

半日の講習終了後にセンターにある精密測定室、工作機械室を見学しました。初め

江戸川製罐株 白川和男

て見るものばかりでしたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。



講師の説明に聞き入る参加者

一般缶連合会

# エコプロダクツ 2013に 出展します

平成25年  
12月12日(木)～14日(土)

▼  
東京ビッグサイト東ホール全館

エコプロダクツは環境への関心の高い様々なステークホルダーが一堂に集う日本最大級の環境展です。15回目となる今回もスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展します。

# 業界の明日を見据えて 参加者と一体となったパネルトーク

東日本一般缶工業協同組合

「もっと知ろう、もっと使おう」一般缶「フォーラム2013」

東日本一般缶工業協同組合は平成

25年7月5日、東京・港区の浜松町

東京會館で「もっと知ろう、もっと使

おう一般缶」フォーラム2013を開催

し、組合員を始め関係者131名が

参加した。第1部は元新日本製鐵鉄

鋼研究所長の加藤忠一氏が「ブリキと

トタンとブリキ屋さん」と題して基調

講演を行った。第2部はパネルディス

カッション。同組合の広浜泰久副理事

長がコーディネーターを務め、「一般缶

がひらく未来PartⅡ」をテーマに4

人の識者が熱のこもった討議を展開し

た。今回は会場からの質問も取り入

れた。第3部は出席者が集う交流パ

ーティを行った。(司会は神宮善太郎・

同組合運営委員長)

## ■基調講演要旨

ブリキは薄鋼板に0.4ミクロンの非  
常に薄いスズがめつきされたもの。  
トタンはブリキよりも厚い20ミクロ  
ンの亜鉛がめつきされたもの。スズ  
を鉄製品にめつきするようになった  
のは12世紀のイギリス。先に造った  
製品を溶けたスズに浸ける「後めつ  
き法」であった。ブリキ起源の説  
はないが、1340年頃にドイツ・  
バイエルン地方で始まったらしい。  
工業化は1620年。イギリスでは  
1670年ブリキ工場ができた。当  
時は台所・家庭用品、とくに漆器様  
ジャパンニングで丸皿やお盆などが  
造られた。アメリカでは1720年  
ブリキ技術が持ち込まれた。ぶりき  
の「安くて、軽くて、使いやすい」  
特性を生かしポット、スプーン、皿、  
砂糖入れ、チーズおろし器、ナッツ  
チョコッパー、マグカップ、ティーポ  
ット、照明器具、ランタン、肩章・

## 新素材・加工技術開発促し 消費者ニーズに適應した 一般缶の newly 用途開発を期待

### 一般缶の newly 用途開発を期待

帽子・煙草・装身具等を入れる箱物

など、多様にブリキ職人によって造

られ、1800年代のアメリカはブ

リキの時代と言われた。ドイツでは

18世紀末からブリキおもちゃが造ら

れ、19世紀後半には産業として飛躍

的に伸びた。アメリカでも1838

年にブリキおもちゃ会社ができ、19

世紀半ばから第1次大戦までブリキ

おもちゃの黄金時代。日本では

1000年位遅れて明治7年に造られ

たが、産業として発達したのは

1950年代中頃で、アメリカを抜

き世界王者になった時代もあった。  
しかし、セルロイドやプラスチック  
に駆逐された。缶詰は1804年に



かとう ちゅういち  
加藤忠一氏

元新日本製鐵株式会社  
(現新日鐵住金株式会社)  
鉄鋼研究所長

1941年福井県鯖江市生まれ。1967年北海道大学  
大学院(修士)修了後、旧富士製鐵株入社。以後新  
日本製鐵(株)で一貫して研究開発部門に勤務し、表面  
処理研究部長、鉄鋼研究所長を歴任。1999年新日  
本製鐵(株)退職。2004年(株)日鐵テクノリサーチ社長退  
任・退職、現在に至る。工学博士。著書に『ブリキとト  
タンとブリキ屋さん』『金箴および箴屋』(株)アイツソ  
リレーション発行)他がある。

た。茶筒は1861年京都で最初に  
造られた。ジュース缶は1954年  
に明治製菓が初めてオレレンジュ  
ース缶として販売したが、現在は殆ど  
がアルミ缶。ビール缶は1935年  
にアメリカで開発されたが現在は殆  
どがアルミ缶。コーヒ缶は強度が  
必要なので今もブリキが使われて  
いるが、窒素充填法が開発されてアル  
ミ缶も使用可能に。スチールは樹脂  
フィルムラミネート鋼板ツーピース  
缶で対抗。その他のブリキ用途に軍  
事用品、エアゾール缶、乾電池外装缶  
煙草缶、蚊取り線香缶、ブリキ天井材  
レコード針箱、筆箱などがある。

今後は「ピース缶」「ドロップ缶」  
や「蚊取り線香缶」のように、ある  
品物が即イメージできる、いわゆる  
「ブランド缶」を開発することが絶  
対必要。ブリキから120年遅れで  
屋根材として開発されたトタンが今  
や建材、自動車、家電用材料に大き  
く変身したのに対し、ブリキは多用  
途に使われてきたが、残念ながら容  
器でしか残っていない。研究者とし  
てブリキの用途開発を少し怠ってい  
た反省がある。これからは消費者ニ  
ーズを新しい視点で掴み、缶製造の  
ための加工技術を新しいものに変え、  
それに相応しい新しい材料を鉄鋼メ  
ーカーに開発してもらおうといった、  
消費者、一般缶メーカー、鉄鋼メ  
ーカーの三者が一致協力した動きを作  
れば一般缶やブリキの new 用途が広が  
っていくものと考えられる。



基調講演を熱心に聞く参加者

## パネルディスカッション

広浜 菓子業界の現状は。

三橋 「少子高齢化で菓子が売れない」と厳しい現状を嘆いている。全日本菓子協会の調べで平成24年度の菓子小売金額は3兆1695億円。菓子の種類

は飴菓子、チョコレート、チューインガム、煎餅、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、油菓子その他。売上順位は①和生菓子②チョコレート③洋生菓子。顕著な傾向はチューイン

●グループ化で新分野進出にチャレンジを  
●組合主導で異分野とのマッチングに期待

(青木氏)

●ゲージダウンでコスト削減を

鉄鋼メーカーもサポート

●最適なサプライチェーン構築へ

業界の垣根越えた対応を

(新谷氏)

●缶用途の長所 営業担当にしっかりと説明

●缶特有の素晴らしさに生きる道を

(三橋氏)

●こまめな情報発信で缶への意識改革を

●缶造りは「社会性」「こだわり」の視点で

(田熊氏)

ガムの落ち込み。2004年1881億円から2012年1325億円と30%超の減少。増えているのはチョコレートで菓子の王様との声もある。このところ菓子メーカーのヒット商品や新製品が出ていない。「安全・安心」の問題で事故のない旧来品をリニューアルする形で出している。これからも新製品の提案は少ないと思う。菓子問屋は800社。うち大手は4社。問屋の生き残り策は工場無きメーカーとしての商品開発。菓子メーカー、問屋の缶

に対するイメージと缶メーカーのアピールしている部分とが乖離している感がある。缶の持つ優位性が逆に菓子にとってマイナスに動いている面がある。広浜 一般缶業界の課題と今後の可能性は。

新谷 鉄鋼製品の用途別受注統計によると、一般缶(王冠、18リットル缶、ペール缶、その他一般缶)向けは10年前に比べ2012年度は29%減、その他一般缶では43%減と落ち込みが激しい。これは容器全体のマーケットの減

少のほかスチールから他素材への移行が関わっていると思われる。この10年間で何が起ってきたか。鋼材価格の値上がり大きい。その背景である鉄鋼材料のサプライヤーの集約化と中国の大量生産による需給バランスの崩れにより、主原料の価格が上がった。鉄鋼メーカーは装置産業ゆえに固定比率が高かったが、この10年のうち鉄鋼材料の値上がりで変動費の占める割合が高くなった。この先、これまでのような大きな価格上昇も、また元の価格に戻ることもないと思う。課題の1つ目は板厚を薄くして使用材料を減らす



課題や将来像を語る4名のパネリスト

「ゲージダウン」を成功させてコストダウンを推進していくことだ。これが本質的かつ構造的にコストを下げる早道だ。ゲージダウンには強度も含めて加工、印刷段階で問題もあり簡単には進めないが、鉄鋼メーカーとしてサポートを考えていく。2つ目は変化する消費者志向を見極めること。消費者は簡単に捨てられる利便性を求めているのではないか。この志向を思いとどませるには「捨てたくない価値」を創り上げることが必要だ。家庭内、職場内で再利用できることを考えていく。また消費者にリサイクルの流れを理解させ、さらには安価な缶をつぶす機械の普及も必要だ。

今後、一般缶の減少に歯止めをかけ、むしろ増やすためには消費者志向を見極めた上で最適なサプライチェーンをどう作っていくか、素材メーカー、流通、印刷、一般缶メーカー、中身メーカー等、業界の垣根を越えた対応が今求められているのではない。

**広浜** 一般消費者の視点から一般缶に対するご意見と一般缶の良さをアピールする方法やポイントは。

**田熊** 一般缶には①リサイクルの優等生、再商品化率の高さ②金属容器としての性能という2つの良さがあるが、それが一般消費者に伝わっていない。環境に配慮したライフスタイルをとる人はゴミをなくす生活を1つのテーマ

#### パネリスト略歴

##### ●青木 宏(あおき ひろし)氏

経済産業省 関東経済産業局 産業部 製造産業課長

1960年神奈川県生まれ。1983年神奈川県立工業部卒。同年4月東京通商産業局(現関東経済産業局)入局。2000年新エネルギー・産業技術総合開発機構出向。2003年関東経済産業局地域経済部地域振興課課長補佐、2005年同局地域経済部地域経済課課長補佐、2006年同局産業部経営支援課長、2009年同局地域経済部地域振興課長を経て2012年より現職。



##### ●新谷泰久(しんたに やすひさ)氏

新日鐵住金株式会社ブリキ営業部プリキ国内室長

1967年広島県生まれ。1990年京都大学文学部卒。同年4月新日本製鐵株式会社入社、名古屋製鐵所工程業務部に配属。以降、本社輸出部、君津製鐵所生産業務部、本社自動車鋼板営業部、名古屋製鐵所工程業務部、名古屋支店自動車鋼材営業を経て、現職。現職着任と同時にスチール缶リサイクル協会実行委員長も務める。



##### ●三橋直人(みはし なおと)氏

菓子食品新聞株式会社取締役編集長

1947年山梨県甲府生まれ。1971年法政大学社会学部卒。1974年東京タイムズ入社、編集部勤務。国会、官公庁、首都圏、運動部など担当。1995年株式会社菓子食品新報社(現菓子食品新聞株式会社)入社。菓子メーカー、卸、小売など担当を経て現職。



##### ●田熊秀美(たぐま ひでみ)氏

株式会社デミパブリックリレーションズ取締役

埼玉県生まれ。法政大学卒。東京都港区在住。環境と食に関する事業を行う企業に入社、1997年から広報担当としてメディアへの情報発信業務を担当する。経営コンサルティング会社を経て、2002年より現職。幅広いメディアとのつながりを活かし企業や団体のメディアリレーションズをサポート。PRプランナー。



#### コーディネーター

##### ●広浜泰久(ひろはま やすひさ)氏

東日本一般缶工業協同組合副理事長

1951年東京都生まれ。1974年慶應義塾大学経済学部卒。1993年5月東日本一般缶工業協同組合理事、2003年5月より現職。現在、株式会社ヒロハマ代表取締役会長、全日本一般缶工業団体連合会理事、全日本一般缶PR活動推進協議会委員長、中小企業家同友会全国協議会幹事を務める。



にしているが、「缶は資源として回収されるのでゴミではないから、缶を捨てることはゴミが増えたわけではない」ということを伝えていく必要がある。缶の良さをアピールするには、使う側の視点に立って考える。具体的手法としては、あるテーマを与えて缶の商品企画やデザインを毎年、定期的に公募し、それを商品化する。こうすることでメディアにも取り上げられる。応募された作品は蓄積されて缶の新しい歴史として残り、少しずつ缶の良さが伝わっていく。

情報発信することが重要。場合によっては直接メディアに訪問して説明することも必要。他にはメディア向けに整理した「ニュースレター」という資料を渡す方法もある。また、年1〜2回、主要なメディアの方々や勉強会を開くこともいい。情報をこまめに継続して出していくことはメディアを動かすことにつながる。ひいては業界や一般消費者の意識を少しずつ変えていく大きな力となる。

**広浜** 産業界を支援する行政の立場から一般缶業界に対する客観的な見方、可能性について。  
**青木** 産業界を見渡すと最終製品の形態が変わらないと成長よりも衰退の流れにつながる。皆様に「ニュースリリース」「プレスリリース」という形で情報発信が基本。組合としてメディアの皆様にごまめに「ニュースリリース」「プレスリリース」という形

型はその過程において「技術の塊」であるので基盤技術の1つになっている。樹脂用もあれば金属用もある。最近では複合材用の研究開発が行われている。支援施策の中に「JAPANブランド育成支援事業」がある。これは複数の中小企業が連携して優れた素材や技術を生かして海外市場に活路を見出していくことに対する支援である。2年前、ある中堅企業が中国企業に買収されたことをきっかけに技術流出に危機感を持った金型業界から、殆ど日本では造れない「順送金型」などの特殊技術をもって欧州へ進出したいとの相談を受けた。採択を受けた1年目に海外市場調査を行い、金型の種類を絞り込むなどして現在3年目の事業に取り組んでいる。こうした事例は一般業界にもあてはまるのではないか。今後攻めるべき新たな市場については、安倍政権が打ち出した「日本再興戦略」の中にも書かれている。また、一般缶

という金属の加工技術を生かして、例えば「成長戦略」で言われている医療分野では、雑菌を嫌い食品よりも厳しい衛生管理が要求されることに対応して、完全密封型で開閉が簡単な「輸送用容器」の開発もいいのではないか。医療機器を常を守るための「容器」も医療分野に入ってくる。その実現には高い技術力が必要だが、除菌や有害物質の除去など素材メーカー側の開発支

援も欠かせない。中小企業の場合、1社では限界があるので、ある程度のグループを組んでチャレンジしていくことが必要だ。

### 〈質疑応答〉

**Q** 年々空缶の輸入が増加している。主な原因は内外価格差と思うが、その主因は人件費よりもガス、電気、石油などエネルギーコストだ。この問題で国は何らかの施策を講じているか。(金属印刷業界)

**A** 材料コスト上昇の大半はエネルギーコストだ。日本は資源輸入国ゆえコストに大きく響くのはやむを得ない。国として価格高騰を極力抑える仕組みや外交政策上の問題、税制の見直しを含めて取り組んでいる。(青木課長)

**Q** 三橋編集長が指摘された「菓子メーカーで考えている容器のイメージと缶メーカーのアピールしている部分とが乖離している」という点を詳しく話してほしい。(一般缶メーカー)

**A** 缶メーカーがアピールする長所や特徴が菓子メーカーにとり有効なはずなのに材料担当や営業部長がこのことを理解していないところもある。用途の部分でしっかりとした説明が必要。またギフト関係では、小売側は店頭で商品の露出度を高くして消費者にその価値を見せようとするが、大きな缶になると場所を取られて困ることになる。

### (三橋編集長)

広浜 最後に一般缶業界に期待することは。

**三橋** 贈答用では、缶入りは3〜5千円が中心。一番の売れ筋は手土産用の千円菓子。だから缶入りの需要は少ない。老舗メーカー以外では缶の需要は限りなく無くなるだろうとある大手メーカー社長は言う。消費者がアフターユースのために缶入り商品を買うというのに疑問を感じる。書類入れやペンケースに利用する話があるが今では100円ショップで買える時代。だからアフターユースをコマースシャルポイントに置かない方がいい。むしろブリキの光沢の良さを生かしたインテリア用品に使ったらどうか。

作りが大事。1つは「社会性」の視点があること。人に役立つ要素がベースになって、そこに美味しいお菓子やおしゃれなデザインがプラスされるやり方だ。近頃「アップサイクル」をうたった商品が出てきている。これはリサイクル品であるが機能性を高め、よりおしゃれなデザインにして値段もあって高くして販売していくものだが、こうした視点で缶商品を企画するのもいいのでは。2つ目は「こだわり」の視点が あること。他素材に比べコストがかかってもあえて缶を使い、その缶が企業のブランドにかける思いや将来の夢を形づくる。缶は企業ブランドの重みなどを伝えやすくする一面があるので。

**青木** 組合主導で異分野の方々とのマッチング活動に期待する。伝統的工芸品の桐タンス業界の事例だが、デザイナーが製作現場で見た技術をヒントに提案して造られた桐の椅子がある。業界側からすると桐は強度がないので椅子には向かないと思ったが、これをデザイナーの工夫で強度を持たせた椅子に作り上げた。新しい風合いのあるこの商品に海外のバイヤーが目を付けたそう。異分野との連携は違った目線や尺度で新しい発想を生み出すきっかけになるので積極的に取り組んでほしい。

**田熊** これからは缶を使うストーリー

「東洋鋼板株式会社下松事業所 工場見学を終えて」

# Beyond Steelの可能性に触れる ことができました。

エイコー(株) 大野宏晃

平成25年5月24日、一般缶友会主催の東洋鋼板株式会社下松事業所工場見学に参加させて頂きました。

総勢19社22名が参加し、広島空港よりバスで工場へ向かいました。

海に面した53万㎡という広大な土地の一角にある事務所会議室にて、ご挨拶、東洋鋼板(株)様のビデオ説明、下松事業所の概要説明があった後、工場見学となりました。

工場では、冷間圧延、クリーニング・焼鈍、調質圧延・極薄圧延、表面処理加工の工程を見学しました。各工程にて、専門スタッフの方が詳しく説明して下さいたことにより、イメージに具体性を持たせることができました。

特に、ラミネートラインを見学するのが初めてであったため、鋼板に樹脂ラミネートが一瞬にそして連続的に付着する様子は驚愕と衝撃でした。普段、金属印刷に慣れている自分にとって危機感さえ感じるものでした。また、ラミネート鋼板を生産する上で表面に欠陥が生じた場合、コンピュータ制御により欠陥部分にマーキングがなされ、製缶工程にてリジェクトできるシステムであるため、常に連続的に処理加工ができることで東洋鋼板(株)様の高い技術に触れることができました。

そして、工場内を移動する中でも、東洋鋼板(株)様独自の技術を目にすることができました。

それは、銀鏡メッキ金属板(ミラーコートK)というもので、自社技術を用いて金属板に銀メッキ処理することで高い反射率(反射率95%)を持つ製品を作り出し、自然光(太陽光)で人工照明に負けない程の明るさを生み出しています。

環境に配慮したエコな照明であるだけでなく、人工照明にはない柔らかい光に感じました。

最後に、事務所会議室にて質疑応答を行い、工場見学を終了致しました。

今回、工場見学を通じて1934年創業以来ブリキメーカーとして先頭を走り続けている東洋鋼板(株)を訪問し、工場見学できたことで「鉄」が持つ無限の可能性 “Beyond Steel”

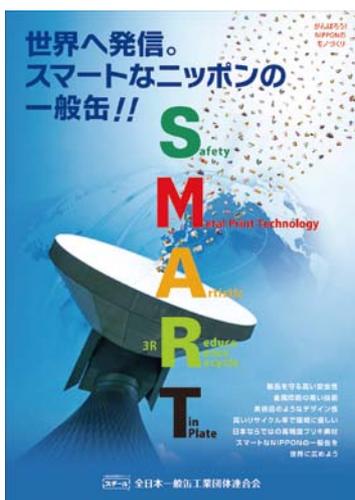


工場見学に参加された皆さん

を実感することができました。鉄鋼業界に携わる人間として、新たな考えや思いを喚起する機会をもたらししてくれる場所でした。

最後に、このような貴重な機会を設けて頂いた東洋鋼板(株)様の方々、並びに企画して頂いた幹事・ご手配して下さいました方がありがとうございます。

## 全日本一般缶工業団体連合会



**業界初、PRポスター製作!**  
このたび当連合会では、PR事業の一環として、「良い製品、造る喜び、届ける誇り」を業界内外に伝えていくため、業界初となる一般缶PRポスターを製作しました。

## 全日本一般缶工業団体連合会

### 一般缶商品購入キャンペーン実施中

全日本一般缶工業団体連合会は平成24年12月から「もっと使おう、贈り物もイッパンカン」を合い言葉に一般缶商品購入キャンペーンを実施中です。春夏秋冬、色々なシーンで贈り物を選ぶ機会はたくさんあります。その際にはぜひ缶入り商品をお選びください。



# 「名誉な受賞で感謝の極み」「他の模範となるよう精進したい」受賞者の声

## 東日本一般缶工業協同組合 第33回優良従業員表彰式

東日本一般缶工業協同組合は平成25年2月22日、東京・中央区の明治座菊の間で第33回優良従業員表彰式を開催した。  
来賓として関東経済産業局産業部製造産業課の窪木健二課長補佐と東京都中小企業団体中央会の橋北隆主幹が出席し、組合員各社から推薦された優良従業員15名を表彰した。



表彰状を受け取る受賞者の方々

表彰式は最上裕光運営委員長の司会で進行。志賀正人副理事長の開会の辞のあと、挨拶に立った定村光理事長は、「1964年に誕生した東海道新幹線の開業に至るまでには大反対論が渦巻いていたという。当時鉄道が斜陽産業に入っていた中で、先人達は多くの苦難を乗り越え画期的な技術を導入し、世界に通用する「システムの鉄道」を作り上げた。このように新技術や革新は恵まれた環境の中で育つものではない。一般缶業界はヒト、モノ、カネの面ではハンデを持つ中小企業の集まりであり、多くの困難に直面しているが、今回表彰された皆さんも製缶に対しチャレンジ精神を忘れ

ずに立ち向かって欲しい」と激励した。

受賞者代表として金方堂松本工業株式会社の郭桂景製造部主任が同理事長から表彰状と記念品の授与を受け、株式会社川口製缶の岩崎正製造部長が「本日の受賞を機にこの表彰を誇りとし、また励みとして更なる精進を重ねていきたい」と謝辞を述べた。

続いて、関東経済産業局の窪木課長補佐、東京中央会の橋北主幹が来賓祝辞を述べた。

司会者より祝電が披露され、広浜泰久副理事長が閉会の辞を述べ、記念撮影ののち表彰式は終了した。その後は明治座公演「かたき同志」を楽しんだ。

今回、受賞の方々に感想を伺ったところ、数々のコメントが寄せられた。

- ▼感激の極みで、会社に長くお世話になる喜びと感謝を改めて実感した。
- ▼会社発展に貢献できるよう努力していきたい。
- ▼自己努力が報われ感慨深い。今回の受賞を自信につなげ、また他の模範となる勤務姿勢を貫きたい。
- ▼他社の方々と交流ができて有意義だった。業界と会社の発展に尽力していきたい。
- ▼大変名誉な受賞で一生の記念になった。
- ▼家族共々、非常に喜んでおり、今後の業

務の励みにして精進していきたい。

▼思いがけない受賞に驚いている。自分にとり貴重な経験として残しておきたい。

▼初めての経験で緊張したが、楽しい時間が過ごせた。これからも頑張つて働いていきたい。



受賞者の皆さん

暑中お見舞  
申し上げます  
(順不同)

**東京都鉄力地金商業協同組合**  
代表理事 國分 滋  
東京都中央区日本橋大伝馬町一七  
電話 〇三(三六六三)八三五七  
FAX 〇三(三六六三)八三五八

**金方堂松本工業株式会社**  
代表取締役社長 竹内雅夫  
東京都台東区東上野一三二八一一  
電話 〇三(三三三三)一一九一  
FAX 〇三(三三三三)七二四四  
e-mail: tokyo-eigyuu@kimpo.co.jp

**中川製罐株式会社**  
代表取締役 中川太郎  
東京都文京区湯島三一一六一三  
電話 〇三(三三三三)〇六九一  
FAX 〇三(三三三三)〇六九三  
e-mail: info@nakagawa-can.co.jp

**江戸川製罐工業株式会社**  
代表取締役 渡邊静雄  
大阪府大阪市鶴見区今津北  
一七一一三  
電話 〇六(六九六八)六七六一  
FAX 〇六(六九六八)三二五八

**全日本一般缶工業団体連合会**  
会長 渋谷明彦  
副会長 定村 光  
副会長 池田祥三  
東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル8F  
電話 〇三(三八六六)七三三八  
FAX 〇三(三八六六)九三五〇

**全日本金属印刷工業協同組合連合会**  
会長 中田正和  
東京都墨田区業平一三二六  
本所ビル二階  
電話 〇三(三六二六)二四一一  
FAX 〇三(三六二六)二五〇一  
e-mail: info634@tokyo-metallic-print.org

**齋藤製罐株式会社**  
代表取締役 齋藤光由  
神奈川県横浜市瀬谷区本郷一四六一八  
電話 〇四五(三〇一)五九一一  
FAX 〇四五(三〇一)五九三五  
e-mail: info@saitoseikan.co.jp

**日進製缶株式会社**  
代表取締役 小黒保満  
埼玉県八潮市南後谷五〇八  
電話 〇四八(九三三)三五六一  
FAX 〇四八(九三三)一八四九  
e-mail: nixtusin@maple.co.jp

**大阪製罐株式会社**  
代表取締役社長 清水浩一  
大阪府東大阪市岩田町一三二二八  
電話 〇六(六七二二)五五四五  
FAX 〇六(六七二二)三四七〇  
e-mail: os-c@osaka-seikan.co.jp

**東日本一般缶工業協同組合**  
理事長 定村 光  
東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル8F  
電話 〇三(三八六六)七三三八  
FAX 〇三(三八六六)九三五〇

**寺島製缶工業株式会社**  
代表取締役 定村 光  
東京都葛飾区立石二二二五一  
電話 〇三(三六九三)〇八四一  
FAX 〇三(三六九四)七七五九

**株式会社神宮製作所**  
代表取締役 神宮善太郎  
千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
電話 〇四(七二二五)一一六一  
FAX 〇四(七二二五)三六三七  
e-mail: jingu@rondo.co.jp

**水戸部製缶株式会社**  
代表取締役 水戸部武寿  
東京都千代田区神田和泉町一三一一  
電話 〇三(三八六六)一一六六  
FAX 〇三(三八六六)一三三八  
e-mail: sales@mitobe.co.jp

**奥村製罐株式会社**  
代表取締役 奥村康彦  
京都府綴喜郡井手町大字多賀  
小字西松ヶ花一  
電話 〇七七四(八二二)〇七七八  
FAX 〇七七四(八二二)四三二四

**西日本一般缶工業協同組合**  
理事長 渋谷明彦  
大阪府大阪市北区天神橋二一四一一七  
千代田第一ビル10F  
電話 〇六(六三三三)一九七三  
FAX 〇六(六三三三)一九六七

**株式会社ヒロハマ**  
代表取締役社長 本多三郎  
東京都墨田区石原二二八一一  
電話 〇三(三六二五)一六八〇  
FAX 〇三(三六二五)一六八八  
e-mail: y-hirohama@cap-hirohama.com

**杉浦製罐株式会社**  
代表取締役 杉浦由記夫  
茨城県守谷市百合ヶ丘二一四八〇七  
電話 〇二九七(四八)二五五一  
FAX 〇二九七(四八)二五五二  
e-mail: sugiura-info@sugiura-seikan.com

**明和金属工業株式会社**  
代表取締役 渋谷明彦  
大阪府高石市取石七一一一六  
電話 〇七二(二七四)一一〇一  
FAX 〇七二(二七四)六三六五  
e-mail: shibux@meiwa-can.jp

**下宮金属工業株式会社**  
代表取締役 下宮義弘  
大阪府堺市堺区南島町三丁一一一  
電話 〇七二(二二二)八一一〇  
FAX 〇七二(二二二)八一一四  
e-mail: info@shimoniya.co.jp

**中部製罐工業協同組合**  
理事長 池田祥三  
愛知県瀬戸市安戸町一三一八  
電話 〇五六(八四)四八五八  
FAX 〇五六(八四)四八五八

**工又エス金属工業株式会社**  
代表取締役社長 中田則彦  
茨城県つくば市緑ヶ原四一六  
電話 〇二九(八四七)七二二〇  
FAX 〇二九(八四七)六七七九

**大日製罐株式会社**  
代表取締役社長 東郷洋次  
東京都千代田区外神田二一六一二  
電話 〇三(三二二五)三二八一  
FAX 〇三(三二二五)三二六六

**平和製罐株式会社**  
代表取締役 中田成一  
大阪府大阪市中央区道修町一五一一八  
電話 〇六(六三三三)三二八八  
FAX 〇六(六三三三)二二八九  
e-mail: info@heiwa-seikan.co.jp

**新高垣製缶株式会社**  
代表取締役 高垣悦夫  
奈良県天理市永原町五五  
電話 〇七四(三六七)三一一一  
FAX 〇七四(三六七)三一一四  
e-mail: takagaki@shintakagaki-can.co.jp

**江戸川製罐株式会社**  
代表取締役 加島 裕  
東京都江戸川区平井五一一四六一九  
電話 〇三(三六一二)四一三一  
FAX 〇三(三六一二)五〇三四

**東邦金属工業株式会社**  
代表取締役社長 澤田武史  
東京都江戸川区松島四一三七一六  
電話 〇三(三六五四)八九一一  
FAX 〇三(三六五四)七三四八  
e-mail: info@tohometal.co.jp

**生野金属株式会社**  
代表取締役 小西克彦  
大阪府高石市高砂三一一二四  
電話 〇七二(二六八)〇七七七  
FAX 〇七二(二六八)〇七八二  
e-mail: info@ikumo.co.jp

**善友金属株式会社**  
代表取締役 馬場康之  
大阪府大阪市淀川区加島四一〇一四四  
電話 〇六(六三〇九)四〇三一  
FAX 〇六(六三〇九)二一〇〇  
e-mail: contact@zenyu-kinzoku.co.jp

暑中お見舞  
申し上げます  
(順不同)

**富安株式会社**  
代表取締役社長 伊藤潤一  
東京都墨田区太平四一五一一五  
電話 〇三(五六一一)七七五一  
FAX 〇三(五六一一)七七五〇  
e-mail shigerukokubun@tomiyasu.co.jp

**大成ブリキ印刷株式会社**  
代表取締役 中田正和  
茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二  
電話 〇二九九(八六二二)〇一  
FAX 〇二九九(八六二二)〇二  
e-mail taisai-honsya@alto.ocn.ne.jp

**新里機工株式会社**  
代表取締役 金澤幸一  
東京都荒川区東尾久一一一九一一三  
電話 〇三(三八五三)七一五〇  
FAX 〇三(三八五三)七一五五  
e-mail nisarato2@nisarato.co.jp

**三幸商事株式会社**  
代表取締役 武田有広  
大阪府大阪市西区北堀江一一二二一四  
電話 〇六(六五四一)九三三三  
FAX 〇六(六五四一)三五八八  
e-mail eigyo@steelsanco.co.jp

**光工業株式会社**  
代表取締役社長 吉田 雷美男  
広島県東広島市志和町冠一一六五一二  
電話 〇八(二四三三)五四〇一  
FAX 〇八(二四三三)五四五三  
e-mail yfihikari@enjoy.ne.jp

**中村商事株式会社**  
代表取締役 中村 定  
東京都千代田区神田和泉町一一七一  
電話 〇三(五六八七)五九一一  
FAX 〇三(五六八七)六一五五

**東都金属印刷株式会社**  
代表取締役 菅谷誠一  
千葉県船橋市小野田町一五二一一三  
電話 〇四七(四五七)五四六一  
FAX 〇四七(四五七)七二三八  
e-mail tometal@ny.cdn.ne.jp

**株式会社N・P・W技研**  
代表取締役社長 山本健士  
三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九)一一三三  
FAX 〇五九六(三九)一一三六  
e-mail sales@npw.jp.com

**株式会社伊賀井商店**  
代表取締役 大岩憲正  
愛知県東海市南柴田町八の割三八一三  
電話 〇五二(六〇三)五五九一  
FAX 〇五二(六〇三)五五九五

**山雄製缶工業株式会社**  
代表取締役 山本浩之  
大阪府大阪市北区大淀中  
五一一一一二四  
電話 〇六(六四五二)五一四一  
FAX 〇六(六四五二)〇八二二

**明邦鋼業株式会社**  
代表取締役社長 田中 康  
埼玉県越谷市新川町一一一四五  
電話 〇四八(九八七)〇七〇一  
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

**富安金属印刷株式会社**  
代表取締役 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五)一五八一  
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

**松本金属工業株式会社**  
代表取締役 松本勝俊  
大阪府大阪市北区天満二一一二一八  
電話 〇六(六三三三)〇九四一  
FAX 〇六(六三三三)九四四九

**日東金属工業株式会社**  
代表取締役 大久保 八城  
大阪府八尾市太田七一一六  
電話 〇七二(九四九)六七一一  
FAX 〇七二(九四九)六七五九

**株式会社ライトハウス  
金属工場**  
代表取締役 岩橋久直  
大阪府大阪市鶴見区今津中  
一一四一三四  
電話 〇六(六九六三)〇四四一  
FAX 〇六(六九六八)二二九八

**スチールリーフ株式会社**  
代表取締役社長 茂木孝之  
東京都葛飾区亀有五一四八一五  
電話 〇三(三六二〇)八〇三〇  
FAX 〇三(三六二〇)八〇六〇  
e-mail mogi@steelleaf.co.jp

**二橋プリント株式会社**  
代表取締役 二橋 英之  
埼玉県三郷市彦川戸一一三八一六  
電話 〇四八(九五三)二二六六  
FAX 〇四八(九五三)五四二一  
e-mail info@futahashi-print.co.jp

**株式会社井上博商店**  
代表取締役社長 井上紀人  
大阪府大阪市住吉区万代東一一一四〇  
電話 〇六(六六九一)一一二五  
FAX 〇六(六六九一)一一二七  
e-mail honsha@inouehiroshi.com

**西部容器株式会社**  
代表取締役社長 川島 湊  
大阪府摂津市別府二一三二一一八  
電話 〇六(六三四九)一六五一  
FAX 〇六(六三四九)七二二八  
e-mail info@sebuyouki.co.jp

**日東製罐販売株式会社**  
代表取締役社長 安藤 宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一)一五六一  
FAX 〇五六四(五一)一五六三  
e-mail eigyo@nitocan.com

**エイコー株式会社**  
代表取締役社長 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
トミンビル1階  
電話 〇四八(九二二)八三七三  
FAX 〇四八(九二二)八三七五

**株式会社城北鋳力  
印刷工業所**  
代表取締役 竹腰 忠臣  
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一一  
電話 〇四(七一)九八二六一一  
FAX 〇四(七一)九八二七七九

**新キヨイ鋼業株式会社**  
代表取締役 渡邊 治樹  
大阪府松原市三宅西四一五四三一  
電話 〇七二(三三三三)二一八一  
FAX 〇七二(三三三三)〇二五二  
e-mail info@kiyoicorp.com

**高野興業株式会社**  
代表取締役 高野 康弘  
東京都墨田区本所一一一一三  
電話 〇三(三五八)一一一六六  
FAX 〇三(三五八)一一二六四  
e-mail takano@dance.ocn.ne.jp

**株式会社MOBY**  
代表取締役社長 清野 泰樹  
千葉県市川市塩浜一一一四  
電話 〇四七(三〇六)〇二二九  
FAX 〇四七(三〇六)〇二四九

**株式会社江連金属印刷所**  
代表取締役 江連 一  
千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三六二)〇一三五  
FAX 〇四七(三六二)八七一五

**是松鋼商株式会社**  
代表取締役 是松 重敏  
大阪府東大阪市楠根二一六一三  
電話 〇六(六七四八)二三六一  
FAX 〇六(六七四八)〇四〇〇  
e-mail info\_kosyo@korematsu.co.jp



◆東日本一般缶工業協同組合  
CPSM会

平成25年4月17日、鷹之台カンツリ倶楽部で第54回CPSM会を開催した。今回の参加者は19名。上位の入賞者は次の通り。  
優勝 菊井 治氏 (富安金属印刷)  
二位 関根浩二氏 (須貝金属工業所)  
三位 小黒保満氏 (日進製缶)  
45・45・90・4・86  
次回は平成25年11月6日、筑波カンツリクラブで行う予定。

◆西日本一般缶工業協同組合  
缶友会ゴルフ会

平成25年5月16日、大阪府の伏尾ゴルフ倶楽部で、晴天の下、第141回缶友会ゴルフ会を開催した。上位の入賞者は次の通り。  
優勝 馬場康之氏 (善友金属)  
二位 武田和久氏 (三幸商事) 45・41・86  
三位 森本雪則氏 (新キヨイ鋼業) 39・48・87  
48・50・98  
\*次回は平成25年10月に行う予定。

平成25年2月から  
7月までの行事

【東日本一般缶工業協同組合】  
2/4 東京都経営支援課「中小企業支援・施策説明会」  
2/6 全国中央会「活路開拓補助金説明会」  
2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会  
2/14 中小企業団体事務局長協会「新年会」  
2/22 第33回優良従業員表彰式  
3/8 第7回理事会(役員会)

3/14	東京中央会「平成24年度下期情報連絡員報告会」
3/19	CPSM会打合せ
3/22	中小企業団体事務局長協会「第57回定期総会」
3/25	正副理事長会
3/25	三役・多田特別顧問との打合せ
4/15	東京金属印刷工業協同組合三役との懇談会
4/17	第54回CPSM会
4/19	監事会
4/24	第1回理事会(役員会)
4/25	都内中小企業関係6団体「取り戻せ日本の活力！中小企業決起大会」
4/26	東京中央会「技術・技能継承事業」説明会
5/16	東京中央会「第61回通常総会」
5/17	第2回理事会(役員会)
5/17	第35回通常総会
5/17	東京都経営支援課「平成25年度業種別団体情報連絡会」
6/11	第1回教育技術慰労会
6/12	中川賢一前理事慰労会
6/13	鉄2健保組合「算定基礎説明会」
7/5	第3回理事会(役員会)
7/5	第1回PR委員会
7/5	第1回流通委員会
7/5	「二缶缶フォーラム2013」中小企業組合士協議会「全体研修会」
7/18	第1回活路開拓委員会
7/23	第2回教育技術委員会
7/26	【西日本一般缶工業協同組合】役員会
5/16	缶友会ゴルフ会
5/27	第45期通常総会
5/27	【全日本一般缶工業団体連合会】鉄鋼製品団体協会「研修会・新年会」
2/22	第5回東日本一般缶PR活動推進協議会
3/8	第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
3/8	役員会
3/26	第6回東日本一般缶PR活動

3/26	推進協議会
4/15	スチール缶連絡協議会
4/15	第1回東日本一般缶PR活動推進協議会
4/25	スチール缶リサイクル協会「多様な回収システム検討セミナー」
5/17	会計監査
5/17	第2回東日本一般缶PR活動推進協議会
6/14	第35回定時総会
6/18	鉄鋼製品団体協会「第51期通常総会」
6/20	経済産業省製造産業局「叙位・死亡叙勲説明会」
6/28	経済産業省鉄鋼課「職員異動歓迎会」
7/5	新会長就任挨拶回り
7/5	【二缶缶友会】
5/24	研修旅行「東洋鋼鈹(株)松工場」
6/5	東京都中小企業団体青年部協議会「第38回通常総会」
6/5	平成25年8月から平成26年1月までの行事予定
8/5	【東日本一般缶工業協同組合】第2回PR委員会
8/8	第2回流通委員会
9/18	第4回理事会(役員会)
11/6	第55回CPSM会
11/28	第5回理事会(役員会)
11/28	忘年会
平成26年	平成26年
1/17	第6回理事会(役員会)
1/17	【西日本一般缶工業協同組合】役員会
8/2	役員会
10月上旬	4S会
10/24	缶友会ゴルフ
12/6	役員会
9/13	【全日本一般缶工業団体連合会】「エコプロダクツ2013」
10/4	出展者説明会
10/4	第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
10/4	第38回全国流通委員会・部会協議会

平成24年12月～平成25年4月迄の  
一般缶生産出荷実績

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
24.12	6,560 (7,007)	6,561 (7,096)	109 (103)	7,814 (7,010)
	5,895 (6,622)	5,438 (5,950)	110 (102)	8,188 (7,398)
	5,614 (7,439)	5,583 (6,002)	94 (82)	8,069 (8,775)
	6,092 (6,303)	6,092 (6,523)	115 (104)	7,977 (8,567)
25.1	6,090 (6,982)	5,820 (6,851)	107 (102)	8,129 (8,713)
	4,169 (4,357)	4,287 (4,509)		3,861 (3,576)
	3,468 (3,526)	3,356 (3,437)		3,972 (3,637)
	3,462 (3,875)	3,397 (3,732)		3,964 (3,744)
25.2	3,614 (4,025)	3,559 (3,990)		4,041 (3,760)
	3,737 (3,879)	3,581 (3,867)		4,078 (3,757)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは同省大臣官房調査統計グループ鉱工業動態統計室編鉄鋼統計月報より転載

組合伝言板

12/12～14 「エコプロダクツ2013」  
平成26年  
1/17 第3回全日本一般缶PR活動推進協議会  
1/17 新年賀詞交歓会  
【二缶缶友会】  
8/8 会計監査  
8/21 平成24年度通常総会  
納涼会

【協力会員加入】  
(東日本協力会員)  
(株)MOBY  
平成25年4月

【組合員脱退】  
(東日本組合員)  
東花堂製缶(株)  
平成25年3月31日付

《代表者交代》  
(東日本組合)  
(有)須貝金属工業所  
代表取締役社長 関根浩二  
平成25年5月

(西日本組合)  
E1ス精器(株)  
代表取締役 有山信夫  
平成25年2月

《住所変更》  
(東日本特別会員)  
大和製罐(株)  
本社・東京都千代田区丸の内  
二一七一二  
JPTワー19階  
電話 〇三(六二二) 九七〇〇  
FAX 〇三(六二二) 九七七〇  
(西日本組合員)  
平和製罐(株)  
本社・大阪府大阪市中央区道修町  
一五一一八  
朝日生命道修町ビル7階  
電話 〇六(六三三) 二二八八  
FAX 〇六(六三三) 二二八九  
《工場竣工》  
(西日本組合員)  
善友金属(株)  
滋賀工場・滋賀県甲賀市水口町八田  
八五九一二六  
電話 〇七四八(六五) 五五五七  
FAX 〇七四八(六五) 五五五八